

# 算数の学習について

## 3年生の算数の目標

- 数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てると共に、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

## 1年間の学習内容

|             | 学習する教材   | おもな学習内容   |
|-------------|--|---|
| 一<br>学<br>期 | かけ算<br><br>時こくと時間のもとのめ方<br><br>長いものの長さのはかり方<br><br>わり算<br><br>大きな数の計算<br><br>暗算<br><br>あまりのあるわり算 | <ul style="list-style-type: none"><li>● かけ算の意味や性質・きまりを理解し、九九を上手に使えるようにします。</li><li>● 「時こく」と「時間」の意味を理解し、「時こく」や「時間」を求められるようにします。</li><li>● 長いものの長さを測ることを通し、目的に応じて単位や計測する用具を選んで測ります。</li><li>● わり算の答えの求め方を理解し、わり算を使えるようにします。</li><li>● 筆算で4けたまでのたし算及びひき算の計算ができるようにします。</li><li>● 2けたどうしの足し算、引き算を暗算でできるようにします。</li><li>● かけ算九九を1回使い、あまりのあるわり算の計算をします。</li></ul> |
| 二<br>学<br>期 | 大きい数のしくみ<br><br>かけ算の筆算（1）<br><br>大きい数のわり算<br><br>小数<br><br>重さのたんいとはかり方<br><br>円と球<br><br>分数      | <ul style="list-style-type: none"><li>● 千万の位までの数の書き表し方や、数の大きさについて理解します。</li><li>● 筆算で2・3けたの数に1けたをかける計算をできるようにします。</li><li>● 何十を1けたの数でわる計算、2けたわる1けたの計算をできるようにします。</li><li>● 小数の意味や表し方について知り、小数の加減計算ができるようにします。</li><li>● 重さを比べたり測ったりして、重さの単位を学習します。</li><li>● 円の直径や半径について知り、コンパスを用いて円がかけられるようにします。</li><li>● 分数の意味や表し方について理解します。</li></ul>                   |

|             |           |   |
|-------------|-----------|---|
| 三<br>学<br>期 | □を使った式    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 未知数を□として数量の関係を式に表すことの良さを知り、□を用いて式や図に表したりできるようにする。</li> </ul> |
|             | かけ算の筆算（2） | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 筆算で2けたの数に2けたの数をかける計算ができるようにする。</li> </ul>                    |
|             | 三角形と角     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 二等辺三角形や正三角形の意味や性質について知り、定規とコンパスを使って作図できるようにします。</li> </ul>   |
|             | ぼうグラフと表   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料を整理して表や棒グラフに表し、読んだり書いたりします。</li> </ul>                     |
|             | そろばん      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● そろばんによるかんたんなたし算やひき算の計算ができるようにします。</li> </ul>                 |

### 家庭へのお願い

- **3年生の算数では、定規、コンパス、三角定規などの用具が必要になります。**  
家庭で用意していただくこととなりますので、学校から連絡がありましたら必要な学習の前に用意してください。また、持ち物には必ず名前をつけることも忘れずにお願いいたします。
- **算数の家庭学習は重要なことと考えられます。**  
宿題はプリントやドリル等が出される場合が多いと思います。子供がどんな学習をしているのかについて関心を持っていただき、宿題の確認をしていただけたら子供の学習状態もわかるかと思えます。